

「高校入学までの効果的な過ごし方を考える」

ー春休み中に少しでも高 1 の勉強に取り組み幸先の良い高校生活のスタートを切ろうー

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

みなさん、中学ご卒業おめでとうございます。皆様はあと一か月もたたないうちに高校生になります。皆様とそこで、今日のラジオ「開倫塾の時間」は「高校入学までの過ごし方」をご一緒に考えてみたいと思います。

2. 春休み中に少しでも高 1 の勉強に取り組み幸先のよい高校生活のスタートを切ろう

①小学校入学前に文字の読み方や書き方を習い、小学校に入学し中学入学前に A B C の読み方や書き方や簡単な英語の表現を習い中学校に入学し小学校や中学校の勉強の良いスタートを切ったと同じように、高校入学前に少しでも高校の内容を勉強してから高校の入学式をお迎えになることを私はお勧めします。

②なぜなら、小学校や中学校の義務教育の勉強も難しいものがあつたでしょうが、高校の勉強は、それに輪を掛けて難しくなるからです。特に高校一年生、二年生の学習内容は各科目ともすさまじいと思われるくらいの分量があり、高校に入学し、授業が始まってから高校の先生についてゆっくり勉強していると相当多くの宿題を課せられることが多いため、それがこなせずあるとき突然学校での授業が全くわからなくなり、高校の先生の授業についていけなくなる場合が数多く見受けられます。テストも定期テストとりわけ実力テストで全く点が取れず、文字通り「落ちこぼれ」てしまう科目が入学からの時間がたつにしたがって増えてしまうのが高校での勉強で多くの人に見られます。

③私は、折角お入りになる高校では、みなさんに勉強の面で成功の実現を果たして頂きたいと心から希望しています。そのために、次のような方法で、この春休みをお過ごしになることをお勧めします。もしよかったら、最後までこの話をお聴きになり(文章で読んでくださっている皆さんは最後の一行までお読みになり)参考にし、もしその通りかもしれないと思う方は迷わず「実行」してみてください。

私のお勧めする勉強です。次に、科目別に勉強方法をお話します。

④ 英語

i) 第一課の本文を大きな声を出して読んでみる。意味不明やめない語句があってもとにかく大きな声を出して読めるところだけでもいいから何回か読んでみて、大体何が書いてあるか何の話かを推測してみる。

ii) ノートを1冊用意して、意味の不明な単語の意味調べをすること。ノートの1ページを3つに分け簡単な辞書を用い「単語」「発音記号」「意味」を調べ、必要と思われることのみ1ページずつ1課分全て書き写すこと。

iii) 辞書による意味調べが大体終わったら再度大きな声で本文を何回か読んでみること。

iv) もし、おこづかいがあれば教科書本文などが入っている「テープ」や「CD」「MD」などを購入してネイティブの人の朗読を聴きながら一文ずつ何も見ないで何回もあとについて読んでみること。

v) さらに、もしできれば、書けそうな語句があれば書き取りの練習をして、1課の中で書けない語句をなくすこと。

vi) このあともう何回か本文を大きな声を出して読んでみて、それでもよくわからない所があれば、鉛筆でマークをして、何がわからないかをはっきりさせること。

vii) 次に第2課に進み、1課と同じように勉強。教科書の半分くらいまでを入学式までに終了させること。ゴールデンウィークが始まるか、終わるまでに高校1年の英語教科書の本文だけでもこのような形で予習が完了していればあとは高校授業に合わせ教科書や副教材の内容をゆっくり完璧に学習するだけとなります。

⑤ 数学

i) 学校から教科書や副教材の配布を受けたその日から、一冊ノートを用意し、教科書を写すようなつもりで1ページから勉強をどんどん始めてください。

ii) なぜこのような定理や公式が導かれるのかゆっくり考え、教科書の説明を学校の先生の講義をお聴きするようなつもりで読み込み、ノートに書き取ること。よく納得(理解)できたら何も見ずに別の紙にその説明をゆっくり書いてみることをお勧めします。

iii) 例題や練習問題がありますので、ノートに問題を必ず書き写し、解いてみること。

* 私は、高校生になったら一枚一枚別、つまりルーズ式のノートを用いるのもいいと考えます。もったいないと思わず、一つの問題には一枚のノートを用い、問題を書き写し、自分なりの解答をその下に丁寧に書くこと。学校の授業にそのノートを持参し、先生の説明や友人の解き方をそのあとに記入すること。一度解いた問題のルーズ式のノートはきちんとファイルしておき、絶対に失わない、なくさないこと。繰り返し一度解いた問題のノートを1ページから読み返し、頭の中に解き方をたたき込むこと。

* あとの勉強でその問題の解き方について付け加えることがあれば、どんどん書き加えること。必要な場合は同じ問題について、2ページめ3ページめのルーズ式ノートを作ること。

iv) もしできれば，入学式の日までに高校1年生の教科書の3分の1，ゴールデンウィークが始まる日，またはゴールデンウィークが終わる日までに3分の2までこのような形で歯を食いしばり高校1年生の教科書を学習し，残り3分の1は夏休みが始まるまで，または終わるまでに仕上げれば高校での数学は理想的な形でスタートが切れます。これがきっかけで国立大学や有名大学の理系にも進学が可能となります。

⑥ 国語

i) 小説を読むようなつもりで高1の教科書をとにかく1冊ペロッとあつと言う間に一気に読んでしまうこと。気に入ったところがあれば，少し大きな声を出して読むこと。

ii) どんなことを高校1年生では勉強するのかを知る上で，小説を読むようなつもりで一冊読み切ることがお勧めです。

iii) 次にノートと辞書を用意して，一冊分の意味調べを入学前にできるだけたくさんすること。高校の国語の教科書ほど，読めば読むほど味わい深いものではありません。国語の教科書ほど，語句の意味調べをすればするほど内容がよくわかる科目はありません。興味がつきないのが高校の国語といえます。入学式までに教科書の3分の2，ゴールデンウィークが始まるまでか終わるまでに残りの3分の1を以上のような形で勉強することが高校で国語を得意科目にする秘訣です。勉強した範囲について漢字書き取りだけはぬかりなく行うことをお忘れなく。

⑦ 社会 理科

i) 国語とほぼ同じように1冊の「物語」を読むようなつもりで副教材を絶えず参照し，辞書で意味調べをしながら一冊分をゆっくり読み切ることが一つの方法。

ii) もう一つの方法は，ゴールデンウィークが終わるところまでを目安に教科書の内容を自分なりにノートにまとめる「サブノート」を作りながら社会か理科のうち一つの教科でもいいから一冊を勉強する方法。

iii) どちらの科目も以上のような形で丁寧に勉強さえすれば必ず。

⑧ その他の科目

興味のある科目だけでもいいから上記の方法でとにかく教科書を一冊丁寧にゆっくり予習することが高校での勉強の秘訣といえます。

3. おわりに—毎日一時間は新聞を読もう—

i) 「努力は必ず報われる」のが高校での勉強です。教科書を受け取ったその日から誰に遠慮することなく，どんどんとりあえずは教科書を中心に一年分の勉強を早めに終わらせることが高校での勉強の秘訣です。どうか以上のような形で勉強をしてみてください。

ii) 学校の勉強とは別に、英検 3 級の合格を高 1 で必ず果たし、もしできれば高 1 か高 2 で実用英語検定の準 2 級に挑戦することをお勧めします。短大なら準 2 級、大学によっては 2 級合格で英語の入試が免除になるところが多いからです。「英検イコール短大、大学入試」です。センター入試で 200 点満点中、英検 2 級で 150 点以上、英検準 2 級で 100 点以上は取れる人が多いのも事実です。

iii) 最後に一言。高校の入学式までに新聞を一面から毎日一時間以上読む習慣を身につけることを強くお勧めします。日本語で深く考える能力を身につけるには、新聞を毎日一時間以上読み込むのが最も効果的だからです。もしできれば、家で購読している以外の新聞を学校や自治体、近くの大学や短大の図書館で週に 2 ～ 3 度 1 ～ 2 時間読み比べ、それを 3 年間継続すれば、なお深く日本語で考える力が身に付きます。以上、辞書なしで読み進めることを心からお勧めします。

* 開倫塾を始める前の 7 年間、開倫塾を始めて 23 年間、合計 30 年間、高校生を見続けて一番大事なことの一つは、高校に入学する前と入学後半年間の勉強であると私は確信しています。どうか頑張ってよいスタートを切ってください。>

以上

(2003 年 3 月 11 日記)